「HP 掲載文」

平成 27 年 3 月 1 日～平成 28 年 5 月 31 日及び平成 24 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日の間に川崎医科大学附属川崎病院で癌と診断され化学療法を行った患者さんへのお知らせ

課題名：がん性疼痛で使用したオピオイドによる便秘に対するルビプロストンの有用性

当教室では、川崎医科大学・同附属病院倫理委員会の承認を得て、平成 27 年 3 月 1 日～平成 28 年 5 月 31 日に川崎医科大学附属川崎病院内科に入院しがん性疼痛でオピオイドを使用し便秘に対してルビプロストン（商品名：アミティーザ）を使用した患者さん、がん性疼痛に対してオピオイド内服中で便秘を生じたがルビプロストン使用のなかった患者さん､および平成 24 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日に川崎医科大学附属川崎病院内科に入院しがん性疼痛に対してオピオイド内服により便秘が生じた患者さんの病態を検討するための後方視的調査研究を実施します。

研究期間は、倫理委員会承認日から 1 年間の予定です。

治療介入を伴わない既存資料のみを用いた後方視的研究であるため、新たに人体試料は採取しません。個人が直接同定されうる情報は収集いたしません。なお、今回の研究データを将来の研究のために用いたり、他の研究機関に提供する可能性があります。その際には研究課題について倫理委員会の審査を再度受け承認を得て実施いたします。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。

この研究は、学内研究費のみを用いて行う研究です。また、この研究課題を実施する関係者にはファイザー株式会社、中外製薬株式会社、協和発酵キリン株式会社より奨学寄附金を受け入れ及び日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社より受託研究費の受け入れ、また日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社より個人収入の受入がありますが、利益相反委員会への申告により適正に管理されています。なお、上記企業は、本研究課題には直接関係はない企業となっております。

本研究は、がん化学療法の臨床においては非常に重要な研究となります。対象者については特定されることはありませんのでご心配なさらないでください。また、患者さんに身体的、経済的負担をかけることはありません。研究への参加を希望しない方やご不明な点などがある方は、下記までご一報下さいますようお願い致します。

【問い合わせ先】
担当者：総合内科学 4　教授　瀧川奈義夫、講師　本多宣裕
電話：086-225-2111（内線 3872）
FAX：086-232-8343
E-mail：info@kawasaki-gim4.main.jp